

取扱説明書

壁掛型：品番 BVF37□□H (□□は回線数)

自立型：品番 BVF38□□F (□□は回線数)



BVF37□□H・BVF38□□F(□□は回線数)

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に作業してください。
取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。
●万一、取扱説明書にしたがわず作業された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

Table with safety warnings including: 絶対に分解したり、修理・改造しない。感電の原因となります。 電池は必ず接続する。電池が接続されていないと停電時に機能しません。 試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻す。戻さないと火災時、正常な火災警報動作をしません。

注意

Table with usage notes including: 点検などで動作させる場合は、運動している設備の内容を十分確認して操作する。 点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じる。引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

交流電源スイッチを「入(ON)」側にするときのご注意

非常放送送動・移信送動・消火栓送動・防排煙送動は、すべて停止解除(送動可能)状態で機能します。接続されている機器が運動しないように注意してください。

交流電源スイッチを「切(OFF)」側にするときのご注意

受信機の電源を切る場合は、電池接続コネクタを抜いた後、約10秒以上待つから、交流電源(AC100V)スイッチを「切(OFF)」側にしてください。約10秒待たずに受信機の交流電源を「切(OFF)」側にした場合は、発報/操作履歴データが記憶できない場合があります。

受信機音響の強制停止のしかた

- 点検時、受信機から主音響・トラブル音響・諸警報音響を鳴動させない場合に設定します。
●受信機の音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「受信機音響停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)(地区音響強制停止時の約1分ごとのビープ音のような音は鳴りません。)

解除する場合

- 「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「受信機音響停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)

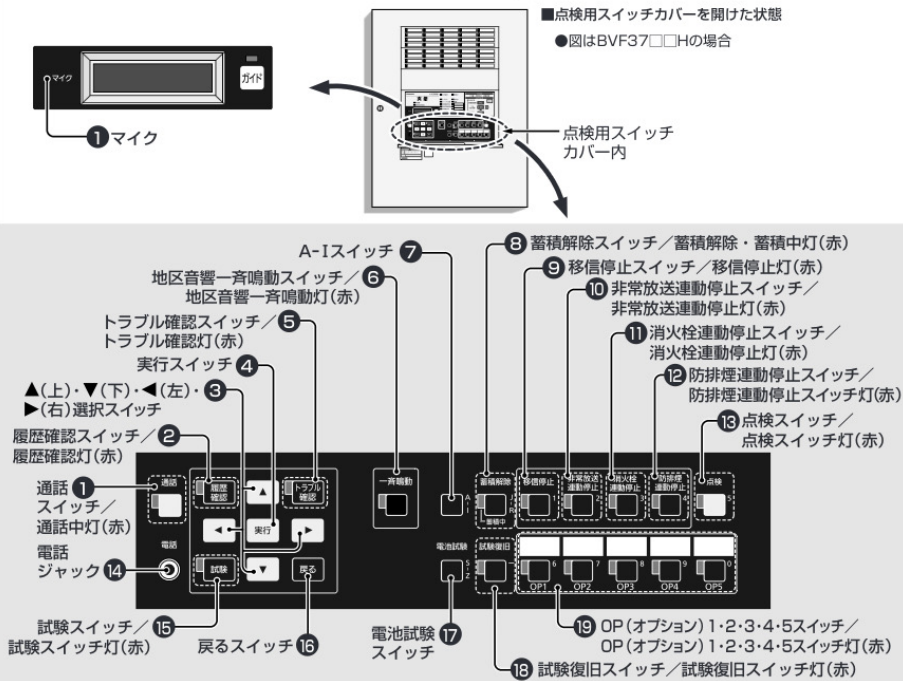
地区音響の強制停止のしかた

- 点検時、地区音響を鳴動させない場合に設定します。
●地区音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押ししている間に「ベル(地区音響)一時停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)(BL+・Bn-BC(DC24V出力)が出力しません。)

解除する場合

- 点検スイッチを1秒以上押ししている間に「ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と地区音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)

各部のなまえとはたらき



- 1 通話スイッチ/通話中灯(赤)/マイク
2 履歴確認スイッチ/履歴確認灯(赤)
3 実行スイッチ
4 実行スイッチ
5 トラブル確認スイッチ/トラブル確認灯(赤)
6 地区音響一斉鳴動スイッチ/地区音響一斉鳴動灯(赤)
7 A-Iスイッチ
8 蓄積解除スイッチ/蓄積解除・蓄積中灯(赤)
9 移信停止スイッチ/移信停止灯(赤)
10 非常放送送動停止スイッチ/非常放送送動停止灯(赤)
11 消火栓送動停止スイッチ/消火栓送動停止灯(赤)
12 防排煙送動停止スイッチ/防排煙送動停止スイッチ灯(赤)
13 点検スイッチ/点検スイッチ灯(赤)
14 電話ジャック
15 試験スイッチ/試験スイッチ灯(赤)
16 戻るスイッチ
17 電池試験スイッチ
18 試験復旧スイッチ/試験復旧スイッチ灯(赤)
19 OP(オプション)1・2・3・4・5スイッチ/OP(オプション)1・2・3・4・5スイッチ灯(赤)